

二〇一五年一〇月二八日（相楽園参加者二三名）

茶室へと誘なふ径の石路明り	満天
昨夜雨に樹々の艶めく苑小春	満天
菊あるじ苦勞話をひとくさり	満天
春慶の船屋形ある紅葉影	満天
身にしむや庭に震禍のモニュメント	ぼんこ
大灯籠とりかこみたる石路明り	ぼんこ
厚物に衰えの見ゆ菊花展	ぼんこ
岩走る流れに沿ひて石路黄なり	わかば
木洩れ日のスポットライト石路黄なり	わかば
四阿に通ふ爽籟庭小春	わかば
四つ目垣お気に入りらし赤とんぼ	有香
小鳥来る千手を翳す大樟に	有香
丁寧糸菊ほぐす主かな	有香
船屋形もみぢ明りに金ン燦と	菜々
せせらぎの風にささ揺れ石路の花	菜々
栗赤飯いただくお庭菊薫る	明日香
きらきらと小春日を揉む小川かな	明日香
庭園の飛び石づたひ石路小径	小袖

爽籟や池に散らばる鯉の影	小袖
背景は高層ビルや菊花展	よし子
裏を見て懸崖菊をうべなひぬ	よし子
菊花展小学生らの作品も	こすもす
雨予報嘘のごとくに菊日和	こすもす
地震の跡標す煙突秋日影	ひかり
菊手入れ宝のごとく愛ほしみ	よう子

吟行句会みの選

二〇一五年一〇月二八日（相楽園参加者二三名）